

報道機関各位

県北地域有機農業拠点ほ場（有機米）技術検討会 — 参加者募集中 —

茨城県県北農林事務所では、持続可能な農業の実現と付加価値を高めた農産物生産による農業の振興を図るため、有機農業（※）を推進しています。

今回は、常陸大宮市（鷹巣地区）に設置した水稻の有機栽培拠点ほ場での取組を学び、栽培技術の向上や生産の拡大に役立てていただくため、技術検討会を開催します。

つきましては、当検討会の開催について、より広く周知できますよう、参加者募集の記事掲載につきまして、お取り計らいをお願いいたします。

※有機農業：化学肥料、農薬及び遺伝子組換え技術を利用しない環境にやさしい農業。

● 日 時：令和5年12月8日（金）13時30分～16時頃まで

● 場 所：くりえーとセンター大宮（常陸大宮市工業団地1番地の34）

● 内 容：

【講演】

①「県内の有機米の取組について」

茨城県農業総合センター 専門技術指導員 宮本 寛

②「常陸大宮市における有機米の指導結果について」

NPO法人 民間稲作研究所 常任理事 川俣 文人

③「有機米栽培の取組について」

(株)JA常陸アグリサポート 大宮地区統括兼大宮営業所長 鈴木 康成

【パネルディスカッション】

テーマ「常陸大宮市における有機米の取組と今後の作付拡大について」

<パネラー>

- ・常陸大宮市有機米生産者、NPO法人民間稲作研究所、常陸大宮地域農業改良普及センター、常陸大宮市産業観光部農林振興課

<コーディネーター>

- ・茨城県県北農林事務所 企画調整部門振興・環境室

● 募 集：県内の有機農業の実践者や有機農業に興味をお持ちの方 60名程度(先着順、参加費無料)

● 主 催：茨城県県北農林事務所 ● 共 催：常陸大宮市

※常陸大宮市の有機米の取組

今春より、鷹巣地区の水田で有機米の栽培を開始（市内の2経営体が生産、作付面積：3.9ha）。NPO法人民間稲作研究所の技術指導を受け、代かき方法の改善や深水管理により雑草防除と安定生産に成功。収穫された米は11月6日より市内学校給食での提供が始まった。常陸大宮市では、去る11月5日に県内初のオーガニックビレッジ宣言を行った。



【問合せ先】茨城県県北農林事務所 担当：堤、加藤
TEL：0294-80-3303 FAX：0294-80-3304
E-mail：hokunourin02@pref.ibaraki.lg.jp